

令和7年度 五十市中学校 学校運営協議会 実施報告

1 学校の概要

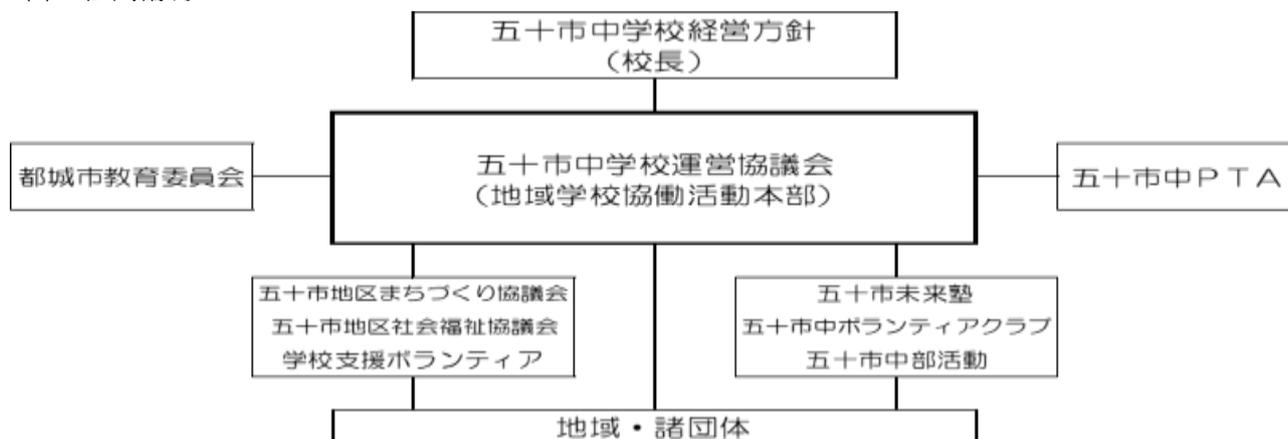
学校名	都城市立五十市中学校		校長名	川越 広幸	
学級数	17	児童生徒数	516名	職員数	37名
教育目標	感謝の心と自他を大切にすることをもち、社会の変化に主体的に対応できるたくましい人間の育成				

2 学校運営協議会に関わる組織

(1) 委員（計7名）・事務局（計3名）

学校運営協議会委員	No.	所属名（役職）	氏名	備考	事務局	役職	氏名
	1	青少年育成協議会顧問	廣底 喜昭	会長		校長	川越 広幸
	2	社会福祉法人ますみ福祉会 さくら児童クラブ施設長	瀬口 信一	副会長		教頭	塩月 貴史
	3	ヤマエ食品工業株式会社 代表取締役	江夏 啓人			ボランティア担当	新西理紗
	4	柳田酒造合名会社代表	柳田 正				
	5	五十市地区主任児童員	大橋 あゆみ				
	6	都城市社会福祉協議会	橋本 楓華				
	7	五十市中学校教育後援会会長	大崎 貴博				

(2) 組織編制



3 活動報告

月 日	主な活動及び内容
4月	・学校運営協議会委員の人選・依頼・市教委への報告
5月17日	・体育大会
6月19日	・第1回学校運営協議会（体育大会観戦・委嘱状交付・学校運営協議会の説明・学校経営説明 他）
7月31日	・第2回学校運営協議会（小中合同開催 於：今町小学校）
10月 3日	・第3回学校運営協議会（桜凍祭参観・部活動結果報告・情報交換）
10月25日	・いそいち Study Room 土曜の朝（五十市地区社会福祉協議会主催の3年生を対象とした学習支援事業）
11月10日	・第4回学校運営協議会（鑑賞教室観覧・情報交換・学校関係者評価の説明）
11月 8日	・いそいち Study Room 土曜の朝
11月15日	・いそいち Study Room 土曜の朝
11月20日	・いそいち Study Room 土曜の朝
12月 6日	・いそいち Study Room 土曜の朝
12月20日	・いそいち Study Room 土曜の朝
1月10日	・いそいち Study Room 土曜の朝
1月24日	・いそいち Study Room 土曜の朝

2月 5日	・第5回学校運営協議会（学校評価の説明・評価依頼・アンケート・次年度役員依頼）
2月 7日	・いそいち Study Room 土曜の朝
2月 21日	・いそいち Study Room 土曜の朝
2月 28日	・第5回学校運営協議会（学校評価のまとめ・卒業式参列の依頼・次年度の対策他）
3月 16日	・卒業式（学校運営協議会委員への案内）

4 今年度実施した「熟議」のテーマ（小中合同学校運営協議会を含む）

7月：「五十市中学校区における良さや課題について」

5 学校運営協議会の意見を生かした特色ある取組

(1) 学校支援活動

「いそいち Study Room 土曜の朝」とは、学校運営協議会委員が所属する五十市地区社会福祉協議会が主催する学習支援授事業で、生徒に学びの場や生徒を支える支援体制を構築していただいている。2学期後半から3学期中旬まで3年生を対象として、計10回計画された。地域ボランティアの方々が、参加生徒に対して懇切丁寧に指導して下さった。高校生等のボランティア参加者も年々増え、本事業が伝統として定着している。また、本校の中学生が小学生を対象に学習支援を行うボランティア活動も行われており、毎年多くの生徒が小学生への学習支援を行っている。

(2) 教育課程の改善（カリキュラム・マネジメント）

学校運営協議会における協議内容をすみやかに具現化するために、同会が地域学校協働本部としての役割も担っている。本年度は、これまで実施してきた五十市未来塾を1学年対象に行い、講師の選定については、同会にはお願せず、別の組織が対応した。

(3) 地域貢献活動

地域の各種団体が実施する行事に積極的に参加したり、ボランティアクラブを発足し、地域から依頼のあったボランティア活動に参加したりするようシステムを構築し、そのような活動を継続している。

- ・五十市地区まちづくり協議会・・・「地区ふれあい文化祭」
- ・都城市社会福祉協議会、五十市地区社会福祉協議会・・・今町っ子まなび館。五っ子 study room（学習支援）
- ・NPO 法人子育てネット おひさまとはらっぱ・・・うめきたキャンプ（ボランティア）
- ・都城ボランティアフェスティバル
- ・校内ボランティアクラブ生が毎年増え、200名近い生徒が加入し、各種活動に参加した。



【ボランティアクラブ説明会】

6 学校運営協議会の成果と課題（○：成果 ●：課題）

- 学校評価による学校の現状や課題等の共有と解決に向けた意見交換を行うことができた。
- 学校HPの更新を頻繁に行うことで、学校運営協議会委員との情報共有が図られ、校長の学校経営方針の理解が進み、様々な助言を頂くことができた。
- 地域貢献活動への意識が高まり、地域のボランティア活動に参加する生徒が増加し、地域からの要請も増加している。
- 地域人材の活用に関しては、行事の精選などの影響もあり、機会が減少している。

7 次年度の方向性

- 本校生徒の意識が高まっているボランティア活動への、より一層の積極的な参加をさらに充実していくために、学校運営協議会委員の一人である社会福祉協議会職員の方と連携したボランティア活動の活性化に今後も一層取り組んでいきたい。
- 委員の顔ぶれや職業が様々であるため、委員の持っている繋がりや経験をより活かすことができるよう、学校行事や教育課程との連携の仕方を工夫する。
- 本地区で活動している様々な団体との連携を深め、保護者や地域との交流を充実させていく。